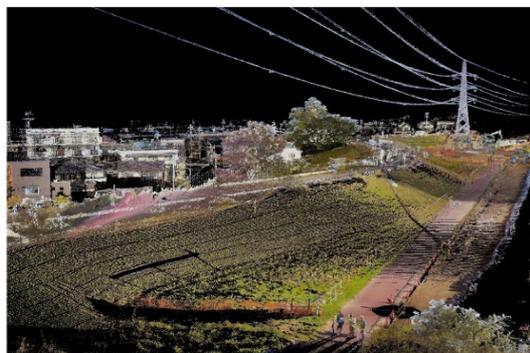


○ 施工者(元請け)が、ICT施工に対応できる技術者の育成に社をあげて取り組む方針のもと、全ての作業に主体的に関わり、ICT土工の効果を実感するとともにノウハウを習得。

- ・ 施工者、協力会社、システム会社との3者で連携し、3Dデータ作成、ICT施工の一連の作業を実施。

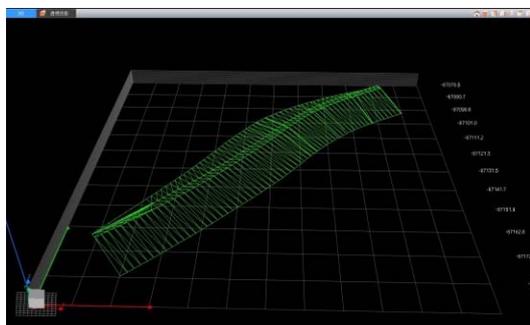


LS(レーザースキャナー)による起工測量



起工測量の結果(点群データ)

【高圧線も把握できる】



作成した3D設計モデル

出来形合否判定総括表

工種	種類・箇所・移動土工		測定		出来形合否判定	出来形合否判定
	種類	箇所	測定	出来形合否判定		
天幕 掘削工事	宇高	-9.8m	-9.8m		出来形合否判定	出来形合否判定
	最大値(%)	0%	-15%			
	平均値	-11mm	-15%			
	標準偏差	1.72%	16.67%以上 (0.00%以下)			
法面 掘削工事	宇高	-9.8m	-9.8m		出来形合否判定	出来形合否判定
	最大値(%)	0%	-17%			
	平均値	-9.8m	-17%			
	標準偏差	1.88%	16.67%以上 (0.00%以下)			
法面 掘削工事 (既設土留)	宇高	-9.8m	-9.8m		出来形合否判定	出来形合否判定
	最大値(%)	0%	-17%			
	平均値	-9.8m	-17%			
	標準偏差	1.88%	16.67%以上 (0.00%以下)			

出来形合否判定総括表

### 施工者の声

- 工期:「LSの使用により、測量日数が12日から2日に短縮され、丁張り作業の軽減に伴い他の業務が実施できるなど業務効率が向上した。」
- 精度:「締固め回数分布図の確認により、確実な締固め管理が可能となり、転圧機械の稼働率も向上した。」
- 施工:「オペレーターの技量に左右されず、均一で精度の高い仕上がりが可能となった。」
- 品質:「出来形合否判定総括表のため、出来形に関する書類は削減となったが、一方で転圧管理については成果出力が増えてしまっている。」
- 安全:「測量及び法面整形時の手元作業員が必要なくなり、重機による死角での接触災害防止、法面からの滑落・転倒災害等の危険性が回避された。また、LS測量の特性から高圧線の高さや位置情報を正確に把握でき、作業計画に役立てることができた。」